

- 問1 5世紀前半に近畿地方を中心として大型の前方後円墳が建設され、5世紀後半には九州の熊本県江田船山古墳と関東の埼玉県稲荷山古墳の双方から同じ大王の名が刻まれた鉄剣・鉄刀が出土しました。この歴史的出来事から読み取れる内容として最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。 (2025年 宮崎県公立入試 類似)
1. 九州地方の首長が独力で関東地方まで直接支配していたこと
2. 近畿地方を中心とする王権の勢力が九州から関東にまで拡大していたこと
3. 東日本を中心に前方後円墳が造られ政治的統一が完成したこと
4. 邪馬台国の女王が中国の魏に使いを送り自らの支配権を認めさせたこと
- 問2 5世紀ごろ、朝鮮半島における勢力争いや戦乱を避けて日本列島へ移住し、須恵器の製作や金属加工、土木などの高度な技術、および漢字や儒教を伝えた人々を何と呼びますか。 (2026年 高知県公立入試 類似)
1. 渡来人
2. 倭寇
3. 朝鮮通信使
4. 防人
- 問3 古墳時代中期(5世紀)の日本において、近畿地方に巨大な前方後円墳が相次いで作られた一方で、熊本県や埼玉県という離れた地域から同一の大王名が刻まれた鉄剣が発見されている理由として最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。 (2025年 宮崎県公立入試 類似)
1. 近畿地方を本拠地とするヤマト王権が地方の首長と結びつき、支配勢力を広範囲に拡大させたから
2. 地方の首長たちが独自に近畿地方の技術を模倣し、政治的影響力を強めたから
3. 九州地方の邪馬台国が全国の首長を従えて巨大な墳墓を各地に建造させたから
4. 中国の皇帝から与えられた鉄剣を全国の首長が共有して保持していたから
- 問4 ヤマト王権が巨大な前方後円墳を築き、その周囲に武装した人物の像などの埴輪を並べたり、鉄剣に首長の称号を刻んだりした歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
1. 貴族による摂政・関白の政治を安定させるための儀式として行ったため
2. 大陸から伝わった稲作の技術を記念し、収穫を祝う祭祀の場とするため
3. 仏教を全国に広めるために、寺院の代わりとして巨大な墓を建立したため
4. 各地の豪族に対して、王権の強大な軍事力や政治的な支配力を示すため
- 問5 5世紀頃、日本の王たちが中国の皇帝に使節を送った背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
1. 後漢の皇帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かり、九州北部における小国の連合を束ねる権威を確立するため。
2. 仏教を日本に広めるために、中国から高僧を招くとともに、寺院建築や経典などの進んだ文化を公的に導入するため。
3. 遣唐使を廃止することで大陸との交流を制限し、日本独自の国風文化を育むとともに、律令国家の形成を早めるため。
4. 中国の皇帝から地位の承認を得ることで、朝鮮半島での軍事的外交関係を有利に進めたり、高度な技術を導入して統治を強固にするため。
- 問6 古墳時代、朝鮮半島から日本列島に移り住んだ人々によって、新たな土器の製作技術が伝えられました。専用の窯(かま)を用いて高温で焼成されることで、それまでの土器に比べて非常に硬く、色が灰色をしていることが特徴の土器を何と呼びますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 土師器
2. 須恵器
3. 弥生土器
4. 縄文土器
- 問7 古代日本における漢字の伝来とその影響について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。大陸から移住してきた人々の活動や、宗教的な背景を踏まえて選びなさい。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
1. 聖徳太子が大陸へ渡った際、現地で使われていた文字を日本独自の文字として持ち帰り、仏教の布教に用いた。
2. 縄文時代の交易を通じて大陸の文字が広まり、その後、仏教を理解するための補助的な記号として漢字が発明された。
3. 平安時代の貴族が、仏教の教えを分かりやすく書き換えるために、漢字をもとにして日本で初めて文字を作成した。
4. 渡来人が仏教の経典とともに漢字を伝え、日本人が公的な記録や情報の伝達を行う手段として定着した。
- 問8 400年頃に倭王が中国へ使いを送っていた記録がある時代から、平城京へと遷都されるまでの期間にかけて、日本列島では大陸との交流が盛に行われました。この時期の文化や技術の伝来について述べた文として、正しいものを選択してください。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
1. 大陸との交流を通じて、源氏物語や枕草子に代表される国風文化が花開いた。
2. 大陸から最新の農業技術が伝わり、脱穀のための千歯扱きが全国に普及した。
3. 中国から大量の銅銭が流入したことで、須恵器に代わって貨幣経済が急速に発達した。
4. 渡来人によって、須恵器の製作技術や、漢字・儒教・仏教などが日本へ伝えられた。
- 問9 群馬県の綿貫観音山古墳から出土した資料などに見られる、灰色で硬く焼き締められた土器の製作上の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島から伝わった技術を使い、穴窯の中で酸素を制限しながら高温で焼かれた
2. 中国大陸の青銅器の影響を強く受け、表面に複雑な幾何学文様を彫り込んで焼かれた
3. 日本列島で古くから用いられてきた伝統的な技法で、野外で比較的低い温度で焼かれた
4. 稲作が普及し始めた時期に、表面に縄目の文様をつけてから乾燥させて焼かれた
- 問10 古墳時代に見られる、上から見ると鍵穴のような形(一方が四角く、一方が丸い)をした古墳の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 近畿地方を本拠とする大和政権の拡大に伴い、各地の首長に受け入れられた形式である
2. 鎌倉時代に幕府の許可を得た武士のみが、自分の領地に築くことができた
3. 聖徳太子による冠位十二階の制定と同時に、身分を示す墓として推奨された
4. 弥生時代に中国大陸から伝わった形式であり、主に北九州地方で多く見られる
- 問11 大仙古墳に代表されるような、非常に広大な面積を占める巨大な前方後円墳が、5世紀ごろの近畿地方を中心に築かれた歴史的な背景を述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 仏教が伝来したことで、死者を供養するための大規模な寺院建築の技術が導入されたため。
2. 中国の律令制度を模範とした国づくりが始まり、天皇の墓を規格化することが定められたため。
3. 朝鮮半島からの渡来人が、大陸での一般的な墓の形式である前方後円墳の技術を伝えたため。
4. ヤマト政権の首長である大王が、自らの強大な権力や経済力を国内外に誇示するため。
- 問12 5世紀のヤマト王権の王たちが中国の皇帝に使節を送り、国内の支配権を認めさせていた時期の文化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. 古墳の頂上や周囲に埴輪が並べられ、王の権威の高さや葬儀の様子を表現した。
2. 魔除けや安産を願う呪術的な道具として、土偶が盛んに作られて集落の近くに置かれた。
3. 仏教の伝来にともない、大規模な寺院の建立とともに数多くの仏像が安置された。
4. 稲作の豊作を祈るための祭礼の道具として、青銅で作られた銅鐸が用いられた。